

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの
サステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを
目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の
可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、
SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と
「まだ見ぬコミュニケーションの創造」
サステナビリティマネジメント

 社会への貢献

 地球環境への貢献

 人材の尊重

 経営統治の継続的強化

企業情報

～サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して～

“Your Value Partner”として人と世界の可能性をひらく、
「まだ見ぬコミュニケーションの創造」に挑み続け、
「サステナブルな未来の実現」に取り組みます。

NTTコミュニケーションズグループは、これま
で、2016年6月に改定したCSR基本方針に基づき、
「社会への貢献」、「地球環境への貢献」、「人材の尊
重」、「企業統治の継続的強化」の4つの重点領域に
おいて、16の重点活動項目などを推進してきてお
り、2020年度もこの基本方針のもと、環境変化も
取り込みながら各種取り組みを進めました。

一方、この間、直面する地球規模での課題や
リスクは、ますます多様化・複雑化・深刻化し、
SDGs/ESGを巡る動向をはじめ、事業を取り巻く
環境は大きく変化してきています。

こうした状況を踏まえ、NTTコミュニケーシ
ョンズグループでは、2020年6月に開催したCSR委
員会で、CSR基本方針の改定を進めることとしま
した。以降、事業を取り巻く環境変化や国内外の
さまざまな動向とともに、2019年7月に新たに定
めた「企業理念」・「信条」、2020年10月に定め
た事業ビジョン「Re-connect X」、NTTグループ
としての取り組み動向などを加味しながら、また、
2020年度までの取り組み結果・評価も踏まえつ
つ、マテリアリティ特定プロセスを進め、基本方針

改定の検討を重ねてきました。

そして2021年5月、サステナブルな未来を創造
する企業グループを目指して現代社会が抱える複雑
かつ多様な社会課題の解決に取り組み、未来を拓く
べく、新たに「サステナビリティ基本方針」を策定
しました。

この新たな基本方針は、私たちの「企業理念」・
「信条」のもと、“Your Value Partner”として、
事業ビジョン「Re-connect X」の推進などを通じ
て、人と世界の無限の可能性を拓きつつ、持続的に
「社会に応え」、「サステナブルな未来の実現」を
目指すものです。

私たちは、その実践を通じて、さまざまなステ
ークホルダーの皆さまと共創し、日々の業務や事業
活動、そして「まだ見ぬコミュニケーションの創
造」を通じて壁を乗り越え、限界を打破しつつ、バ
リューチェーン全体で持続的に社会に応えていき
ます。そして、その積み重ねによって社会全体の
DX、GX、SXを推進し、「SDGs達成への貢献」、
目指す「サステナブルな未来の実現」に取り組み、
企業価値の持続的向上を図っていきます。

サステナビリティ基本方針の重点領域と「目指す未来」

重点領域*	目指す未来
社会	イノベティブで活力にみち、強靱で安 心・安全、そして価値創発で持続的に発 展するよりよい未来
環境	カーボンニュートラルで、資源が循環し、 生物多様性が保全されて自然と共生す る、グリーンな未来
人材	多様性に富み、誰もが尊重され共に高め 合い、社会に応じて自分らしく活躍できる 未来
ガバナンス	高い倫理観と確固としたガバナンスの もと、常に信頼され、多彩な共創がサステ ナブルな社会を織りなし、紡ぐ未来

※ サステナビリティ基本方針(2021年5月策定)における重点領域

 これまでのCSR基本方針、重点領域、重点活動項目については、
レポート内「重点活動項目とKPI」をご覧ください
P.015

 マテリアリティ特定プロセスは、レポート内「新重点活動項目
とKPIの設定」をご覧ください
P.016

 サステナビリティ基本方針については、レポート内「私た
ちが目指す社会」をご覧ください
P.005

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの
サステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを
目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の
可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、
SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と
「まだ見ぬコミュニケーションの創造」
サステナビリティマネジメント



社会への貢献



地球環境への貢献



人材の尊重



経営統治の継続的強化

企業情報

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の可能性を追求し、 2030年度カーボンニュートラルの実現や、 SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組みます



常務執行役員
安藤 友裕

深刻化する気候変動問題をはじめSDGs/ESGなどに示された、地球規模での課題やリスクへの対応は、持続可能な社会を次の世代へ、そして未来につないでいく上で、今日、一層喫緊となっています。NTTコミュニケーションズグループでは、こうしたSDGs/ESGを巡る内外の動向やそれらに伴う事業環境の変化、未来社会を支える先端技術の動向などを踏まえ、2021年5月、これまでの「CSR基本方針」を改定し、新たに「サステナビリティ基本方針」を策定しました。この新たな基本方針は、全員参加型で作上げた「企業理念」・「信条」のもと、「サステナブルな未来の実現」を目指し、私たち一人ひとりが、「自らはじめ」、「共に高め」、日々の業務や事業活動、そして事業ビジョン「Re-connect X」などの推進を通じて、「社会に添えて」自分らしく活躍していくことをその取り組みのベースに置いたものとなっており、こうした点を大切に推進していきたいと考えています。

また、この方針は、「社会」「環境」「人材」「ガバナンス」の4つ重点領域で構成しており、各重点領域では、SDGsと関連付けつつ、目指す未来、そして12の重点活動項目を定めたところであり、これらの重点活動項目などの推進により、私たちの事業活動がもたらす、バリューチェーン全体を通じたICT/DX推進による「社会への正の効果」の一層の発揮と、「負のリスク・影響の最小化」を目指すことで、「さまざまな社会課題の解決」「SDGs達成への貢献」、そして、その先の目指す未来社会の実現を進めてまいります。

私たちが先端技術を駆使して提供する、「Smart World」、[Smart Data Platform for X]などのDXソリューション・プラットフォームや、新たな「移動・固定融合サービス」などのICTインフラは、気候変動、大規模災害や少子高齢化、感染症や情報・サイバー空間上の脅威への対応など現代社会が抱える複雑かつ多様な課題の解決や、社会のさまざまな分野におけるDX、GX、SXの推進、そして、その先の未来社会を支える価値創造に向けた切り札にもなり得るものです。SDGs/ESGを起点に、あらゆる分野・世界がよりよい未来に向かって結束していかなければならない今、こうした事業活動を通じてあらゆる分野・世界をつなぎ社会に貢献できる喜びは社員にとっても大きな価値を持つものとなっています。

これからもNTTコミュニケーションズグループは、次世代、そして目指す未来社会を支えるサービス・基盤を開発・提供し続け、一層複雑化・多様化する社会課題を解決し、未来を拓くべく、ICT/DXの無限の可能性を追求し続けます。そして新たに制定したサステナビリティ基本方針のもと、グループ一丸となって、社会の期待・要望に応えるべく、ICT企業ならではの「事業活動を通じたCSV/CSR」を実践し、SDGs/ESGの推進、イノベティブで創造的、強靱で、安心・安全、グリーンで自然と共生し、活力ある地域社会で構成される、誰もが尊重され、互いに高め合い、社会に添えて自分らしく活躍できる、持続可能で夢のある未来の実現に、さまざまなステークホルダーの皆さまと共創・創発しつつ、積極的に取り組んでまいります。

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの
サステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを
目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の
可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、
SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組みます

サステナビリティ基本方針と
「まだ見ぬコミュニケーションの創造」
サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」

私たちが取り組む「まだ見ぬコミュニケーションの創造」とは、「今日と未来の懸け橋として、あらゆる情報があらゆる垣根を越え、最適なかたちで社会をめぐり、より活用され、人と世界の可能性、そして、想像を超える未来を切り拓き、未知なる豊かさを社会や世界に届けてゆく、そのようなコミュニケーションの創造に向け、コミュニケーションの無限の可能性に挑み続けること」です。

これは、私たちNTTコミュニケーションズグループの使命であり、存在意義であり、「企業理念」の中核をなすものです。NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティおよびその基本方針は、このような取り組みと基本姿勢を「信条」の3項目とともにその骨格に据えたものとなっています。また、右記の「Corporate Message」、「Tagline」に込めた私たちの意志を反映したものとなっています。

Corporate Message

今日と未来の間に。

私たちは、今日と未来の間に常に媒介し、「今日」も世の中を支えながら、「未来」を創り続ける

Tagline

Go the Distance.

※ 距離を超える・最後までやり抜くの意

まだ見ぬコミュニケーションの創造を通じて、距離を超えた先にある価値を創り出す、という意味を込めています。加えて、「最後までやり抜く」の意味から、我々が大切にしてきた誠実さをもって、社会や顧客の期待を超えて、信条を貫き、企業理念を実現する決意を表現しています。



NTTグループの一員として
SDGsに賛同

2016年度、NTTグループは国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同を表明しました。これを受け、私たちも2016年度よりNTTグループの一員としてSDGsに貢献する取り組みを推進しています。CSR・SDGs研修などを行い、社内全体でSDGsの理解浸透を深め、SDGsの目標に紐づいたサステナビリティ重点活動項目などの事業活動を通じて、SDGsの目標達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの サステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを
目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の
可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、
SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と
「まだ見ぬコミュニケーションの創造」
サステナビリティマネジメント

 社会への貢献

 地球環境への貢献

 人材の尊重

 経営統治の継続的強化

企業情報

サステナビリティマネジメント

サステナビリティ推進体制とマネジメント

サステナビリティ推進体制

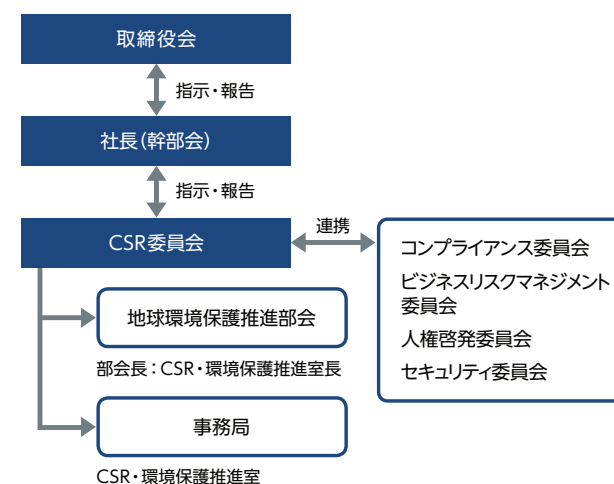
私たちは、CSR活動を推進するために「CSR委員会」を設置しています。委員会はCSR担当役員である常務執行役員を責任者と定め、経済的・環境的・社会的な観点からマネジメントを実行する体制を確立することを目指しており、委員会内部には「地球環境保護推進部会」を設けています。また、委員会に報告・協議された事項については、社会・環境面での重要なリスク情報なども含め、取締役会へと共有されています。

なお、2021年度からは、同委員会は、年2回開催とし、従来グループ会社からは企画部門長が参加していたところ、グループマネジメント強化の観点から、各社社長が参加する体制に変更し、推進体制の充実を図りました。

そのほか、コンプライアンス委員会、BRM(ビジネスリスクマネジメント)委員会、人権啓発委員会、セキュリティ委員会といった他委員会とも必要な連携を図って行くこととしています。

CSR委員会では、このような推進体制のもと、今後、新たに策定したサステナビリティ基本方針に基づき、各種の取り組みを推進していきます。

サステナビリティ推進体制図



CSR委員会メンバー

委員長	CSR担当役員(常務執行役員)
委員	各組織長、NTT Comグループ社長
事務局	HR部 CSR・環境保護推進室

マネジメントの推進

私たちは、CSR活動を適確に推進するため、活動の成果を検証・評価する仕組みを構築し、継続的に運用しています。具体的には、毎年度、CSR重点活動項目の目標として「CSR指標」(KPI)を策定し、その達成度

合いを検証・評価・総括し、次年度の指標の策定に反映しています。このように、PDCAサイクルを回すことでCSRマネジメントを実効あるものとし、CSR活動の適確な推進に取り組んでいます。これらのプロセスは、毎年度の指標の見直しはもとより、CSR基本方針および重点課題の再検討なども含めて、CSR委員会を通じて実施され、今回、後述するマテリアリティ特定プロセスなどを経て、2021年5月、これまでのCSR基本方針を改定し、サステナビリティ基本方針を定めました。CSR委員会では、今後、この新たな「サステナビリティ基本方針」のもと、4つの重点領域(社会・環境・人材・ガバナンス)に基づく活動状況を主要推進事項の各主管組織とともにタイムリーに把握します。そして、新たなKPIに基づく取り組み評価、最新の社会動向や他社取り組み事例、外部評価を共有し、PDCAサイクルを回しながら、サステナビリティマネジメントを展開し、サステナブルな未来の実現に向けたNTTコミュニケーションズグループの各種の取り組みを適確に推進していきます。

 マテリアリティ特定プロセスについては、レポート内「新重点活動項目とKPIの設定」をご覧ください

P.016

NTT Communications Corporation Sustainability Report 2021

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」

サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント

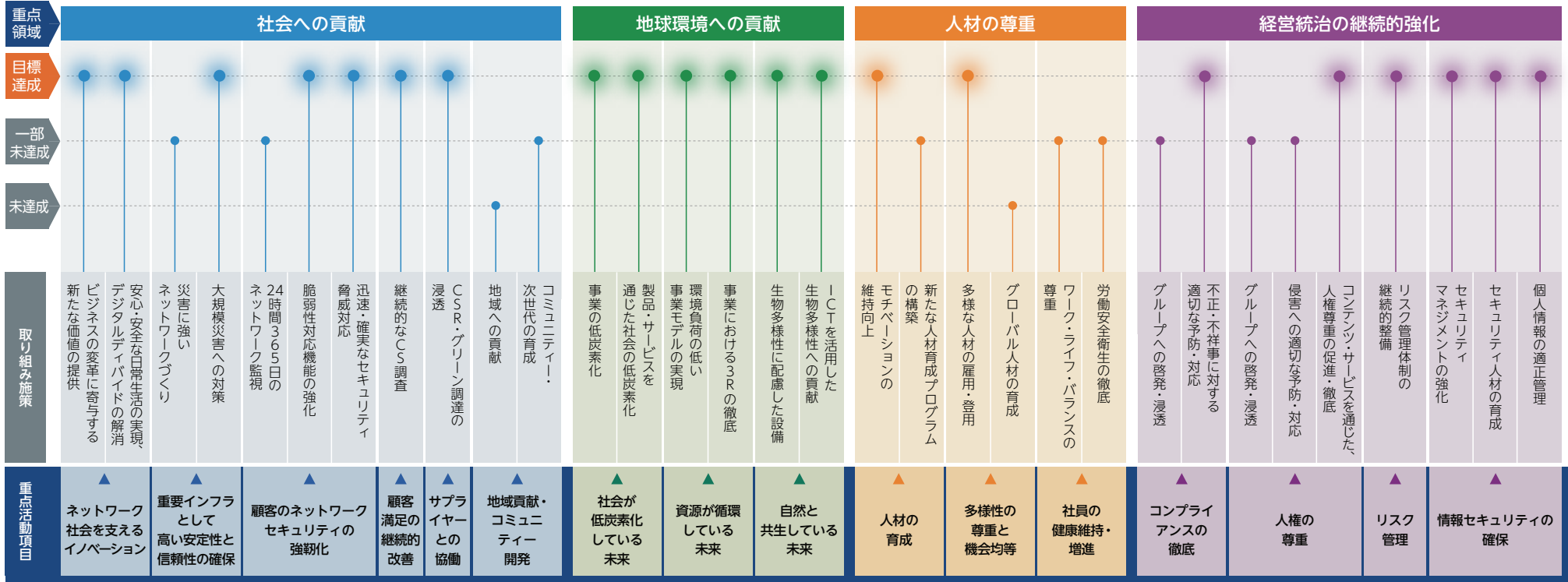
重点活動項目とKPI

2020年度までの振り返り

重点活動項目（2016～2020年度）では、年度ごとに設定した「CSR指標」について、その達成度合いを毎年検証・総括することで、CSRマネジメントの有効性を測ってきました。最終年度となる2020年度においては、設定した目標に対して、概ね達成という結果が得られました。マネジメント面においては、サステナビリティ活動を加速させるため事業戦略を意識した取り組み、そして、認識した社会課題に対して定量的な目標を設定・管理し、実効的なアクションプランを遂行することがサステナビリティ活動を加速させるうえで重要と認識しています。そのうえで、CSR委員会において新たな重点活動項目のもとグループ全体で活動を推進していくことを確認しました。

CSR基本方針（2016～2020年度）

私たち NTT コミュニケーションズグループは、現在と未来を「つなぐ」パートナーとして、ICTを通じて、グローバル規模で社会の新たな価値創造や社会的課題解決に取り組み、安心で快適・豊かな社会の実現に貢献します。



※ 具体的な活動報告は、P.020以降で報告しています。

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

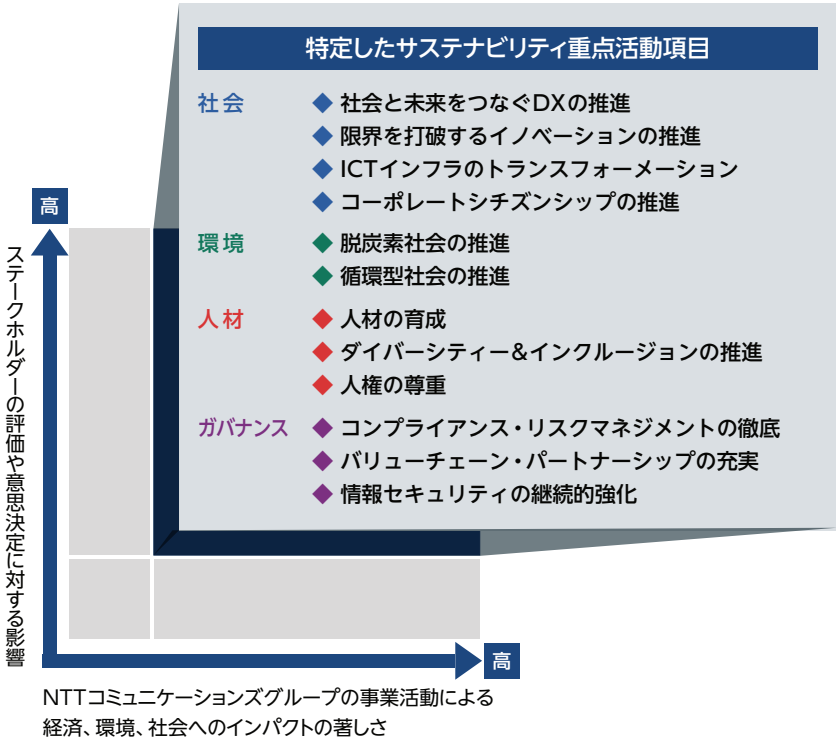
NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント

新重点活動項目とKPIの設定

NTTコミュニケーションズグループは、サステナブルな未来を創造する企業グループを目指すべく、気候変動対応をはじめSDGs/ESGを巡る社会からの要請やさまざまな期待、事業戦略およびNTTグループの取り組み、国内外のさまざまな動向などを踏まえつつ、下図のようなマテリアリティ特定のプロセスを経て、サステナビリティ基本方針の策定とともに重点活動項目の見直しを実施しました。新たな重点活動項目は、下図右側の「特定したサステナビリティ重点活動項目」の通り、社会、環境、人材、ガバナンスの重点4領域を構成する12の項目となっています。NTTコミュニケーションズグループは、今後これらの重点活動項目に沿ったサステナビリティ活動を行っていきます。

マテリアリティ特定プロセス



CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント

主要推進事項／KPI

各重点活動項目に主要推進事項と指標 (KPI) を定め、主管組織のもとPDCAを推進しています。主要推進事項およびKPIはCSR委員会 (年2回開催) で議論し、社会・ステークホルダーの動向に応じて随時見直ししています。特定のKPIについては、その達成度合いを役員報酬に反映させる準備を進めています。なお、グリーン電力の推進および電力削減施策の推進を通して2030年度にはデータセンターとネットワークなど、自社が排出するCO₂を実質ゼロとするカーボンニュートラル*の実現を目指します。



社会



目指す未来

イノベティブで活力にみち、強靱で安心・安全、そして価値創発で持続的に発展するよりよい未来

重点活動項目	主要推進事項	指標 (KPI)
社会と未来をつなぐDXの推進	社会・産業DXの推進	定性 ・BBX戦略に基づくSmart World推進
	ワーク／ライフスタイルDXの推進	定量 ・提供サービス (8件)
	グローバルビジネスDXの推進	
限界を打破するイノベーションの推進	創造的イノベーションの創出	定性 ・創造的でイノベティブなSmartXの推進
	イノベーション・マネジメントの推進	定性 ・社内外と連携した創造的なイノベーションの推進
ICTインフラのトランスフォーメーション	自然災害に強く、高信頼で、安心・安全なネットワーク基盤の充実	定性 ・現行ルートの脆弱度評価を行い、全国DSMケーブルの更改方針へつなげる取り組み ・災害発生時に重要回線の冗長確保の速やかな実施 ・災害発生時でもサービス影響を与えにくいNW構築 ・社内監視制御NWのセキュリティ強化
	先進的で強固な情報・サイバーセキュリティの提供	定量 ・セキュリティサービスの開発／メニューの追加 (2件)
	先進的で柔軟なネットワークサービスの提供	定量 ・Edge Computing、ドローン、Local 5G等への先進的な取組を推進 (2件)
	持続可能な未来に資する社会貢献活動の推進	定量 ・地域社会貢献活動への参加回数 (対前年比増)



環境



目指す未来

カーボンニュートラルで、資源が循環し、生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来

重点活動項目	主要推進事項	指標 (KPI)
脱炭素社会の推進	グリーン電力の推進	定量 ・自社における再生可能エネルギー利用率 (2030年度50%以上)
	電力削減施策の推進	定量 ・CO ₂ 排出量の削減 (2030年度2018年度比▲50%)
	EV (電気自動車) の導入	定量 ・EV (電気自動車) 導入率 (2024年度50%、2030年度100%)
	CO ₂ 削減に貢献するサービス等の提供	定量 ・通信事業の電力効率 (2030年度2013年度比10倍以上)
	エネルギー効率向上の推進	定量 ・社会のCO ₂ 排出量の削減貢献量 (2030年度自社排出量の10倍以上)
循環型社会の推進	3R (削減、再使用、再資源化) の徹底	定量 ・廃棄物の最終処分率 (2030年度1.5%以下)
	プラスチックの循環利用の推進	

* 対象はGHGプロトコル：Scope1 (自らの温室効果ガスの直接排出) およびScope2 (他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出)

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

サステナビリティマネジメント



目指す未来

多様性に富み、誰もが尊重され共に高め合い、社会に応じて自分らしく活躍できる未来

重点活動項目	主要推進事項	指標 (KPI)
人材の育成	・新たな人材育成プログラムの浸透・活用の推進 ・スキルアップ支援制度の充実	定量 ・一人当たりの育成費用 (22.8万円/年)
	・多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 ・女性管理職比率 (2025年10%)
		定量 ・男性育休取得率 (2025年25%)
		定量 ・障がい者雇用率 (2.3%)
	・ワークライフバランスの推進	定量 ・社員満足度 (前年度以上)
		定量 ・帳票類の電子化実施率 (70%)
		定量 ・在宅勤務率 (70%)
	・労働安全衛生・健康管理の徹底	定量 ・特定保健指導対象者率 (2021年16.5%、2023年14.5%)
		定量 ・特定保健指導完了率 (2021年43%、2023年55%)
人権の尊重	・プロアクティブな人権啓発活動の推進	定量 ・人権研修受講率 (前年度以上)
		定量 ・人権デューデリジェンスの実施 (1回以上/年)
		定量 ・人権に関する違反件数 (0件)



目指す未来

高い倫理観と確固としたガバナンスのもと、常に信頼され、多彩な共創がサステナブルな社会を織りなし、紡ぐ未来

重点活動項目	主要推進事項	指標 (KPI)
コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底	コンプライアンスへの取組の継続的充実	定性 ・コンプライアンス研修を実施、リスク管理意識の醸成
	リスク管理体制の継続的充実	定性 ・全社リスクマネジメントの推進
バリューチェーン・パートナーシップの充実	CSR・グリーン調達への徹底に向けたサプライヤーとの協働	定量 ・CSRアンケート回収率 (100%) ・高リスク取引先の調達状況確認実施率 (100%) ・リスクが認められた取引先に対する是正対応の実施率 (100%)
	ステークホルダー・エンゲージメントの充実	定性 ・ステークホルダーとの対話や要望への対応
情報セキュリティの継続的強化	セキュリティ・マネジメントの継続的強化	定性 ・システム監査/情報セキュリティ監査やサイバーセキュリティ対策の実施、マネジメント体制の充実 定量 ・重大なインシデント発生件数 (0件)
	セキュリティ人材の育成	定量 ・IT/OTシームレスなセキュリティ人材育成 (30名/年) ・ODYSSEYセキュリティカテゴリーlevel3以上 (2024年度: 総計200名以上)
	個人情報の適正管理	定量 ・重大な個人情報漏洩件数 (0件)

※ 目標年度の無い指標は、単年度目標として、2021年度末を基準とする

NTT Communications Corporation Sustainability Report 2021

CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と「まだ見ぬコミュニケーションの創造」サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント

NTTコミュニケーションズグループのバリューチェーンを通じたサステナブルな未来実現に向けた取り組み

NTTコミュニケーションズグループでは、事業活動が、バリューチェーン全体で社会や環境にどのような影響をもたらすかを把握し、新たに策定したサステナビリティ基本方針に沿って、SDGsと照らし合わせながら、改めて対応すべき主要事項を明確にしました。SDGsの達成、そして、サステナブルな未来の実現に向けて、バリューチェーンパートナーシップの充実を図りつつ、事業活動を通じて、社会への正の影響を強化し、負のリスク・影響を最小化すべく、これらの主要事項の取り組みを進めていきます。

4つの重点領域 ◆ 社会 ◆ 人材 ◆ 環境 ◆ ガバナンス



CONTENTS

トップコミットメント

私たちが目指す社会

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの
サステナビリティ

～サステナブルな未来を創造する企業グループを
目指して～

新たなサステナビリティ基本方針のもと、ICT/DXの無限の
可能性を追求し、2030年度カーボンニュートラルの実現や、
SDGs、そして持続可能で夢のある未来の実現に取り組めます

サステナビリティ基本方針と
「まだ見ぬコミュニケーションの創造」
サステナビリティマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

企業情報

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント

NTTグループとの関係

グループ一体でのCSRの推進

NTTコミュニケーションズでは、NTTグループの一員として、2021年11月に「NTTグループCSR憲章」より改訂された「NTTグループサステナビリティ憲章」に基づき、グループ一体での社会的課題の解決に取り組んでいます。NTTグループではこれに伴い、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、サステナビリティに関する基本戦略、活動の実施状況、情報開示について議論するなど、取り組みを推進しています。当社グループも事業会社として参加し、委員会での決議事項については活動内容に反映していきます。

また、NTTグループでは、SDGsを意識してCSRの取り組みに関する理解および促進を目的として、2013年度より「NTTグループCSRカンファレンス」を開催しています。弊社グループは同カンファレンスで2016年度から連続して表彰されています。2021年度も積極的にCSRの観点で貢献する施策やサービス事例を共有・報告しています。

「NTTグループサステナビリティ憲章」の詳細は
こちらをご覧ください。
<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/11/10/211110d.html>

◆ CSRカンファレンスの様子



外部との関係

外部団体への参加

NTTコミュニケーションズでは外部団体・組織への参加を積極的に行い、情報共有を行うことで社内の枠組みを超え、社会課題の解決につながる取り組みの共有を図っています。

外部団体への参加状況(主な団体のみ掲載)

- ・気候変動イニシアティブ(JCI)
- ・一般社団法人沖縄オープンラボラトリ(理事)
- ・一般社団法人高度ITアーキテクト育成協議会(理事)
- ・一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会(ICSA)(理事)
- ・一般社団法人セキュリティ対策推進協議会(SPREAD)

社外から経営陣へのアドバイザー

多様なステークホルダーの視点を適切に加味した経営を実現することは重要な責務であると、私たちは考えています。この考えに即し、各役員は、事業を通じた日常的な対話に加え、内外の会合への参加や個別面談などを積極的に行っています。特に事業戦略にサステナビリティの視点を加味するうえでは、内外の専門家・有識者との意見交換が重要であると考え、「経営陣と外部有識者のダイアログ」を継続的に実施しています。2020年度は、SDGパートナーズ代表取締役CEOの田瀬和夫氏をお招きし、CSR委員長とのダイアログを実施しました。なお、経営陣からサステナビリティ戦略の推進業務を委任されている各部門担当者が継続的に実施している有識者レベルのダイアログについても、その内容を必要に応じ経営陣へとCSR委員会などの場を通じて適宜共有しています。



「経営陣と外部有識者のダイアログ」の詳細は
こちらをご覧ください。
https://www.ntt.com/about-us/csr/dialog/dialog_2020.html